鈴鹿医療科学大学 授業評価アンケート結果閲覧システム

授業評価アンケート結果

開講年度	2017大学院	学期	後期

（講義に対する取り組みについて）|1）この講義を履修するにあたり、私には基礎的な知識が十分にある。

A	8 %	4 人
B	13 %	6 人
C	58 %	28 人
D	17 %	8 人
E	4 %	2 人

2）私は、この講義のための準備（予習、復習、課題・関連学習など）を十分に行った。

A	19 %	9 人
B	19 %	9 人
C	48 %	23 人
D	6 %	3 人
E	8 %	4 人

3）私は、この講義に意欲的・積極的に取り組んだ（質疑・討論など）。

A	42 %	20 人
B	38 %	18 人
C	21 %	10 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

4）私は、この講義への出席・参加率、レポート提出率はよかった。

A	58 %	28 人
B	17 %	8 人
C	25 %	12 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

5）私は、この講義が理解できた。

A	31 %	15 人
B	63 %	30 人
C	4 %	2 人
D	2 %	1 人
E	0 %	0 人

（講義について）|6）この講義のテーマは、私の関心に合っていた。

A	58 %	28 人
B	33 %	16 人
C	8 %	4 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

7）私は、この講義において、自身の明確な目的が作れた。

A	42 %	20 人
B	38 %	18 人
C	21 %	10 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

8）教員は、毎回の講義あるいは課題で、適切なまとめや重要ポイントの指摘がなされた。

A	69 %	33 人
B	25 %	12 人
C	6 %	3 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

9）教員は、学生からの反応や意見を活かした講義を行い、レポート課題を出した。

A	63 %	30 人
B	21 %	10 人
C	17 %	8 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

10）教員は、学生のレベルや理解度をよく把握した講義を行い、レポート課題を出した。

A	65 %	31 人
B	15 %	7 人
C	21 %	10 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

11）教員は、学生の勉学意欲がわくような講義を行い、レポート課題を出した。

A	67 %	32 人
B	21 %	10 人
C	13 %	6 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

12）教員は、学生の質問・意見等に対し、明快に分かりやすく対応していた。

A	79 %	38 人
B	19 %	9 人
C	2 %	1 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

13）教員は、講義の進度を適切に行った。

A	73 %	35 人
B	25 %	12 人
C	2 %	1 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

14）教員の講義に対する意欲や熱意が感じられた。

A	83 %	40 人
B	17 %	8 人
C	0 %	0 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

15）私は、質疑・討論など、積極的に参加する機会があった。

A	50 %	24 人
B	42 %	20 人
C	6 %	3 人
D	2 %	1 人
E	0 %	0 人

16）私は、この講義で、シラバスに到達目標として示された知識や能力を獲得できた。

A	33 %	16 人
B	52 %	25 人
C	13 %	6 人
D	2 %	1 人
E	0 %	0 人

（講義についての満足度）|17）この講義では自分にとって新しいことを学んだ。

A	75 %	36 人
B	25 %	12 人
C	0 %	0 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

18）この講義により知的刺激を受け、さらに関連する分野を学びたいと思った。

A	75 %	36 人
B	21 %	10 人
C	4 %	2 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

19）この講義の内容は専門職をめざす上で、十分な意義が感じられた。

A	79 %	38 人
B	19 %	9 人
C	2 %	1 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

20）全体としてこの講義に満足している。

A	71 %	34 人
B	27 %	13 人
C	2 %	1 人
D	0 %	0 人
E	0 %	0 人

Copyright(C) 2010 .SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE. All Rights Reserved.